

研究・調査報告書

報告書番号	担当
167	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
The burden of alcohol-related ill health in the United Kingdom イギリスにおける飲酒関連疾患の社会的負荷について	
執筆者	
Balakrishnan R, Allender S, Scarborough P, Webster P, Rayner M.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Public Health (Oxf). 2009 Sep;31(3):366-73. Epub 2009 Jun 3. Review.	
キーワード	
飲酒、疾病負荷、経済コスト、イギリス、NHS	
要旨	
目的： 適正な飲酒量はある疾患には保護的に作用すると考えられてきたが、現在の飲酒様式は現代社会の健康と経済に大きな負荷を課している。この研究では、イギリス国民医療制度(NHS)における飲酒による健康と経済の負荷を評価し示したい。	
方法： 飲酒に起因する NHS のコストはすでに系統的レビューによって明らかにされている。飲酒に起因する死亡と罹患は WHO 疾病負荷(global burden of disease)計画から得られた情報と通常の死亡統計から算出した。直接的な医療費は、飲酒に関連する病態の人口寄与割合の情報を用いて、NHS コストデータと合わせて算出した。	
結果： 今研究では飲酒はイギリスで 2005 年に 31,000 名の死をもたらし、2005-2006 年の飲酒に要した NHS の費用は 30 億ポンドであったと見積もった。2002 年に飲酒はすべての疾病の 10%(男性 15%、女性 4%)に寄与していた。	
結論： 飲酒はイギリスにおいて相当な健康負荷となっている。様々な生活様式における健康と経済の負荷の比較は公衆衛生活動を方向付け、解決するために必須であろう。	